

白根南嶺縦走 山行報告書(天上小屋山まで)

【山域】南アルプス南部 白根南嶺

【コース】

予定 11月4日：二軒小屋ロッジ～伝付峠～天上小屋山～生木割山～笹ヶ岳～布引山～

11月5日：布引山～青薙山～畑薙第一ダム

実績 11月4日：二軒小屋ロッジ～伝付峠～天上小屋山～伝付峠～二軒小屋ロッジ

11月5日：二軒小屋ロッジ～樺島

【日時】2017年11月3日～5日

【天候】11月3日曇り～4日晴れ/曇り～5日晴れ

【参加者】CL 柘植、SL 澤田(淳)、滝本、古関、薄井、小宮山(記録)

【山行タイム】

11月4日

6：00 二軒小屋ロッジ～7：45 伝付峠(水補給)8：25～10：50 天上小屋山～

11：10 天上小屋山と生木割山の間付近(目的地を二軒小屋へ変更)～

11：20 天上小屋山～13：30 伝付峠～14：25 二軒小屋自然散策路～14：45 二軒小屋ロッジ

【山行報告】

11月3日移動日

7：30、千葉駅北口で集合。CL 車は滝本さんをピックアップして到着し、全員乗り込む。古関さんは三重から参加のため畑薙第一ダムで待ち合わせる。東名高速が混雑しており、CL お勧めの駿河湾沼津 SA 海鮮丼はパスして進む(涙)。11：40 ようやく高速を降りコンビニで買い物をして、更に奥地を目指す。くねくね道をたどり14：10に畑薙第一ダムに到着した。古関さんとも無事に合流する。

東海フォレストのバスが15：00丁度に到着、宿泊のデポジットとして3,000円/人を支払い、バスに乗る。「揺れますので注意してください。」とアナウンスあり。電車のようにぐらっと横揺れが時々あるのかなと思いきや、縦揺れ中心で時々お尻が浮いてドシンと座席に打ち付けられる。圧迫骨折要注意。紅葉が丁度見ごろで、縦に横に揺れながら楽しんだ。

1時間ほど揺られて樺島に到着。このバスはこのまま二軒小屋まで行く様で、「このまま乗っていていいですよ。」との事。更に30分縦揺れが続き、16：30に二軒小屋に到着。こんな山奥とは思えないほど瀟洒なロッジで、周辺もきれいに整備しており、別荘地の様だ。澤田さんと私は食事つきの宿泊にした。評判通りの地元材料で手の込んだコース料理に舌鼓を打った。自炊組も同じ食堂で夕飯を摂ることができた。火は室外のテーブルを使用するよにとの事だった。部屋も清潔で温かく、お風呂場や洗面所もきれい。水道の蛇口もピカピカに磨かれている。気持ちのいいところだった。うっかり観光モードになりそうだが明日は6時の出発なので早々に就寝。



二軒小屋ロッジ



手前が自炊組、奥が小屋食組



キノコのピザ

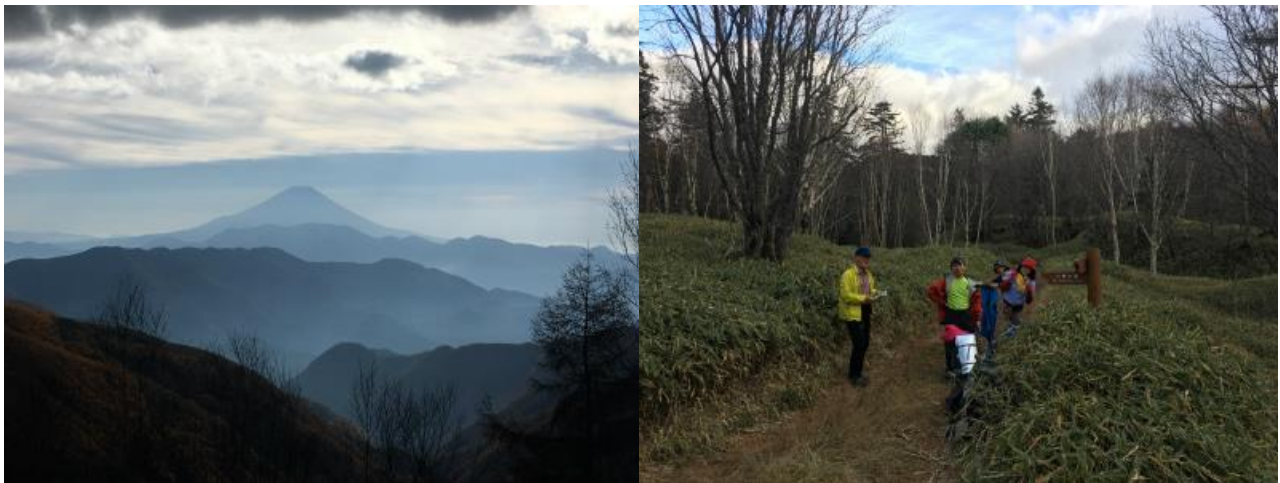
11月4日登山開始

4:00 に目が覚めて身支度、朝食お弁当を食べる。わっぱめに鳥の照り焼きや魚の佃煮がのっており美味しかった。

5:00 ほかのメンバーも起きだす。(静かに) 食堂で朝食を摂ってよく、自動のお湯お茶機が使えた。

6:00 出発。伝付峠まで標高差 600mの急登だがジグザグに道が切っており登りやすい。しかし…、澤田さんの調子が思わしくなくだんだん列から離れてくる。風邪で熱も出てきた様だ。澤田さんは山行を中止し小屋に戻る事となる。今晚二軒小屋は満室との事だったので、樫島ロッジに行く可能性が高いそうだ。5日の下山地の畑薙第一ダムで集合とした。リーダーが車のカギを澤田さんに渡し、それぞれ出発する。

7:45 伝付峠に到着する。水場までは笹の藪道を下ってゆくのだが、藪に足元が覆われて前進するのがコワイ。リーダーと薄井さんがやけに早く、藪の中をす〜っと進む様子は幽霊??の様だった。すごい！慣れなのでしょう。写真のような小さい滝があり水量は豊富だった。



8:25 出発、ここから緩やかな登りになる。しばらくは旧林道で道幅も広いが、木の切り株やらがチラホラあり気を付けないと躓く。旧林道も終わり山道となる。保利沢山をひたすらトラバースする道で淡々と進む。途中、斜面が崩落している箇所をたびたび通過する。岩も落としやすく、足取りは慎重にしなければならない。南アルプスの斜面は崩落地帯がたくさんあり、今まで見た山とは表情が違う。山塊によって景色がずいぶん違うものと思った。右側に展望を眺めつつ、保利沢山南コルを過ぎ、長いトラバースから緩いアップダウンの稜線の道となる。

10:50 天上小屋山を通過し、生木割山の登りに差し掛かるあたりで古関さんの声が。足の肉離れ

が再燃した様子。数週間前にジムでエアロビクス中に受傷した箇所、登りで足に荷重をかけた際に痛むとのこと。リーダーは策ヶ岳手前の樫島へ下山ルートも考えたようだが、そこまでの上り下り、沢沿いの下山道のリスクや古関さんの足の傷み具合を勘案し、安全安心のルートとして二軒小屋に戻る事になる。この地点、地図には「伝付峠～策ヶ岳間で最も美しい森」となっていた。その美しい森に伝付峠でくみ上げた水を「奉納」し、荷物を再分配して引き返す。



美しい森に伝付峠の水を奉納



天上小屋山に登頂！！

11：20、先ほどはスルーした天上小屋山山頂で記念撮影をする。一応ピークには行ったぞ！後はひたすらトラバースを進む。細かいキラキラしたものが降ってくる。空は明るい、少し離れた雲から降ってくる様で雪だった。稜線付近はやはり寒い。雲が近づき、標高が低くなるにつれ小雨に変わった。雨具を着ようか悩むところだが、一応雨具上衣とザックカバーをする。幸いぱらっと降っただけですぐおさまった。

13：30 伝付峠通過、急な下りを二軒小屋に向けて進む。急な下りも終盤になると、二軒小屋自然散策路へと合流する。行きとは違うルートを取り二軒小屋へ。伝付峠から二軒小屋への道は紅葉が丁度見ごろで大変美しかった。行きは全然目に入りませんでした（^^；





「ゴメンナサイ」ポーズ



ビールがおいしい～

14:45 二軒小屋到着。二軒小屋のお姉さんに尋ねたところ、澤田さんは樫島ロッジに行ったようだ。二軒小屋のテラスで古関さんがお詫びに飲み物を振る舞ってくれた（ビール組とコーヒー組）。瀟洒なロッジで紅葉を見ながら飲むビール、おいしかったです、ごちそうさまでした。まったりと休んだあとは夕飯タイム。広い芝生にテーブルが点在し、そこで思い思いの夕飯を食す。明日は帰るだけなので二軒小屋ロッジ9時過ぎ発のバスに乗ればいいし、それまで何しましうかねえ～。

外も暗くなりトイレに行ってテントへ戻ったら、なんと！みんなすでに就寝。まだ7時前なんですけど…。しかも自分の寝る場所がナイ。十数センチの端っこに何とか敷かせてもらう。朝6時起床としても11時間耐えられるか…、この山行中一番の試練だった。

11月5日帰宅日

翌朝6時起床。朝食を済ませ、近くの三日月湖を散策する。エメラルドグリーンの水と紅葉。標高1400m付近のこの辺りが、今、紅葉のピークの様で、どこも色づいてきれいだった。



親子？でカップラーメン



それなりに寒い



三日月湖とボク



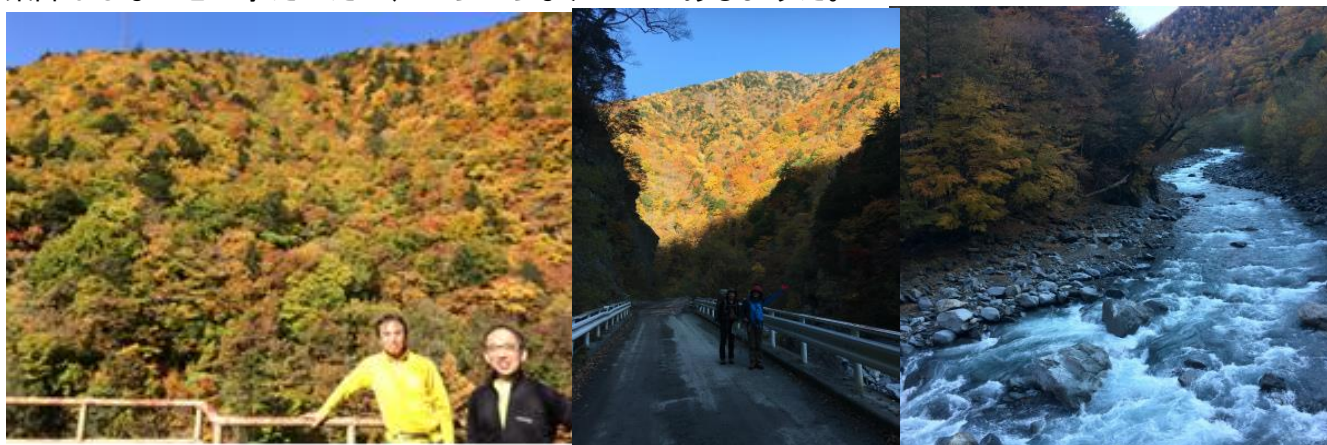
ハイク三人組、「行くぞ、おー！！」

二軒小屋ロッジから榎島までハイキングチーム（薄井さん、滝本さん、私）とバスチーム（CL、古関さん）に分かれて向かうことにする。ハイキングチームは8時に出発！バスは9:15分出発だ。ランニングもする薄井さんと滝本さんはサクサク歩きが早い。頑張ってついていく。沢沿いに歩く。沢は大きく水量豊富だ。天気も良くて紅葉が太陽に透けてキラキラしている。とても気持ちいいハイクだ。意外に車が登ってくる。ほとんどパトロールや点検や仕事の人の様だが、長岡ナンバーや県外ナンバーが多いのはなぜ？

調子よくサクサク進むので、「バスと同じくらいにゴールか？」と思ったが、9:35、割と早くバスが追いついた。運転手のおじちゃんに乗っていくかと言ってくれたが最後まで歩くことにして、先に行ってもらった。

10:00に榎島到着。頑張りました。澤田さんとも無事合流した。榎島ロッジの裏には大きな広場があり、そこからの山と紅葉がスバラしい。山を見ながらおやつタイム。

10:30 榎島発バスにて、1時間揺られて畑薙第一ダムへ。途中紅葉見どころスポットで車を止めてくれ撮影会をした。また、途中で下山者を一人ピックアップした。事前情報では今年から途中の乗降はしないとの事だったが、いろいろなケースがあるようだ。



帰りのバスに乗る際は宿泊の領収書を見せるとなっていたが、運転手のおじちゃんや宿の人は宿泊者を把握しているのか提示は求められなかった。今は空いているからかな。

11:30 畑薙第一ダム着、赤石温泉白樺荘にて入浴（1日出入り可能！510円）。ここで古関さんとまたの再会を期して別れる。千葉チームは井川湖近くの「アルプスの里」で昼食。おばちゃんが作る手打ちそばや季節のてんぷらを賞味。近くの無人野菜売り場「おっかちゃんの店」でお買い物をして帰途についた。

東名高速はまたもや混雑。それでも東京近くでは混雑も解消し、21時には千葉市に到着した。

筑ヶ岳は来年にリベンジとなった。でも今回は素晴らしい紅葉や（一部メンバーは）美食の旅を堪能することができた。いつもは紅葉の季節でも歩くのに一生懸命で愛でる余裕のない私は、紅葉がいっぱい楽しめて良かった。



柘植さん、企画・調整等々ありがとうございました。
今回参加の皆さま、また来年よろしくお願いします。